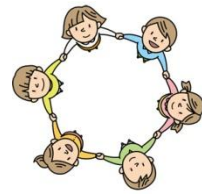


心の輪21R



『律子と敏子』という資料を通して、 「友情」について考えを深めました！



文部科学省資料
『私たちの道徳』P.61 より引用

私はこの時間を通して、友達は当たり前にいるものではないんだなと思いました。『離れて気付く大切さ』があるんだなと感じたので、日ごろから周りの友達を大切にしていきたいです。

私はこの時間を通して、友達の大切さを知った。自分のことばかり考えて、律子を避けるようになったけど、別れのときに後悔が生まれ、大切さを知ったから、私もこれからもっと友達のことを大切にしたいと思った。

今までの自分の友達関係を振り返って、もっと自分だけではなく、他の人たちにも気を配りながら、みんなで楽しく過ごせればいいなと思いました。

律子は敏子にただ電話や手紙を書いているのではなく、敏子を励ましてくれていたのに、そのことに気付かなかった敏子の感謝と後悔の気持ちがよく分かった。

私はこの時間から、『友達』とは、複雑な感情があっても、結局は「仲が良い」楽しい関係であるということだと思った。友達は大切にしたいと思った。

『友達』とは、自分の話などを聞いてくれる優しい人。でも、その友達とは、いつかケンカをしてしまうかもしれないが、必ずまた仲が良くなる。自分にとって大切な人だと思う。

今日は、『友達』について学びました。私にとっての友達は、面白い時や嬉しい時は一緒に笑って、困った時や悲しい時は、相談して悲しみを分け合える友達です。

今日は、『友達』についてしました。前までは、「会話が弾むと友達」と思っていたけど、友達になった後、どうするかが一番大切なんだなと思いました。『友達』だから自分の話を押しつけていいわけじゃなく、『友達』だから無視をしてもいいわけじゃないということを心に留めて、これからもみんなと話していきたいです。

友達といると楽しいことばかりで、悩みや嫌なことを忘れさせてくれる。その友達に嫉妬したり、嫌いだと思うことがあると思うが、良い所を見て、自分もその分、気持ちを返せたらいいなと思った。

友達はとても大切な存在なんだと改めて感じました。感謝の気持ちは相手にしっかり伝えて、後悔しないように行動したりしようと思いました。簡単そうなことだけど、とても難しいものだと思うので頑張りたいです。

私はいつも自分のことばかり話しています。もう少し友達の話も聞いてあげられたらなと思います。人と話して楽しませることは苦手だけど、せめて『友達』と言える人とたくさんの思い出を作って、もっと話したいなと思いました。